



# 「市民意向調査」を実施 結果と市政への反映

## だれもが“ほっと”できるまちを目指して

### 市民意向調査とは

真岡市では、本市の都市像である「だれもが『ほっと』できるまち 真岡」の実現に向けて、第11次市勢発展長期計画「ベリィ・HOT・HOT」プラン」を市政運営の指針として、さまざまな施策を実施しています。

市民意向調査は、本計画に掲げる施策の成果指標として、市民の皆さんの意向や満足度を把握するため、毎年実施しているものです。

質問は89問あり、まちづくり、生活環境、公共交通、地域づくり、地域活動、福祉、医療、子育て支援など、幅広い分野にわたっています。

平成27年度市民意向調査の結果がまとまりましたので、その結果の一部と、結果に関連した市の事業の一部をご紹介します。

### 調査の概要

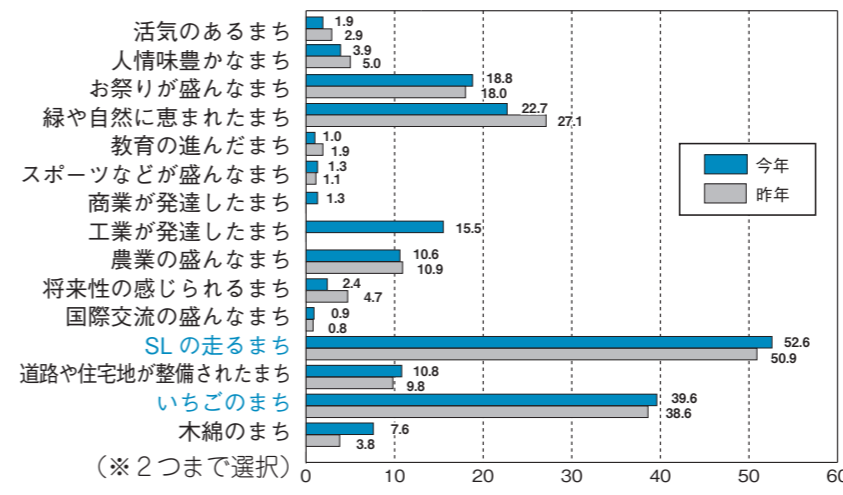
- 【地域】 真岡市全域
- 【対象】 満18歳以上の市民 3千人（無作為抽出）
- 【時期】 平成27年 4月～5月
- 【方法】 郵送調査
- 【回収数】 1152票
- 【回収率】 38・4%

### 調査結果報告

#### ◆真岡市のイメージ

真岡市に、どのようなイメージを持っているかという質問では、「SLの走るまち」が最も高くなっており、「いちごのまち」「緑や自然に恵まれたまち」「お祭りが盛んなまち」と続いています。

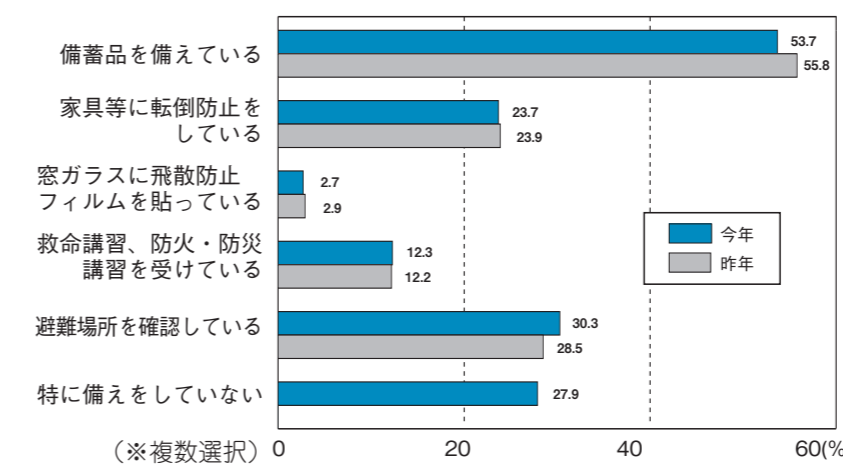
昨年まで「商工業」としていた項目は、今年から商業と工業それぞれ別の項目としました。



#### ◆消防・防災対策について

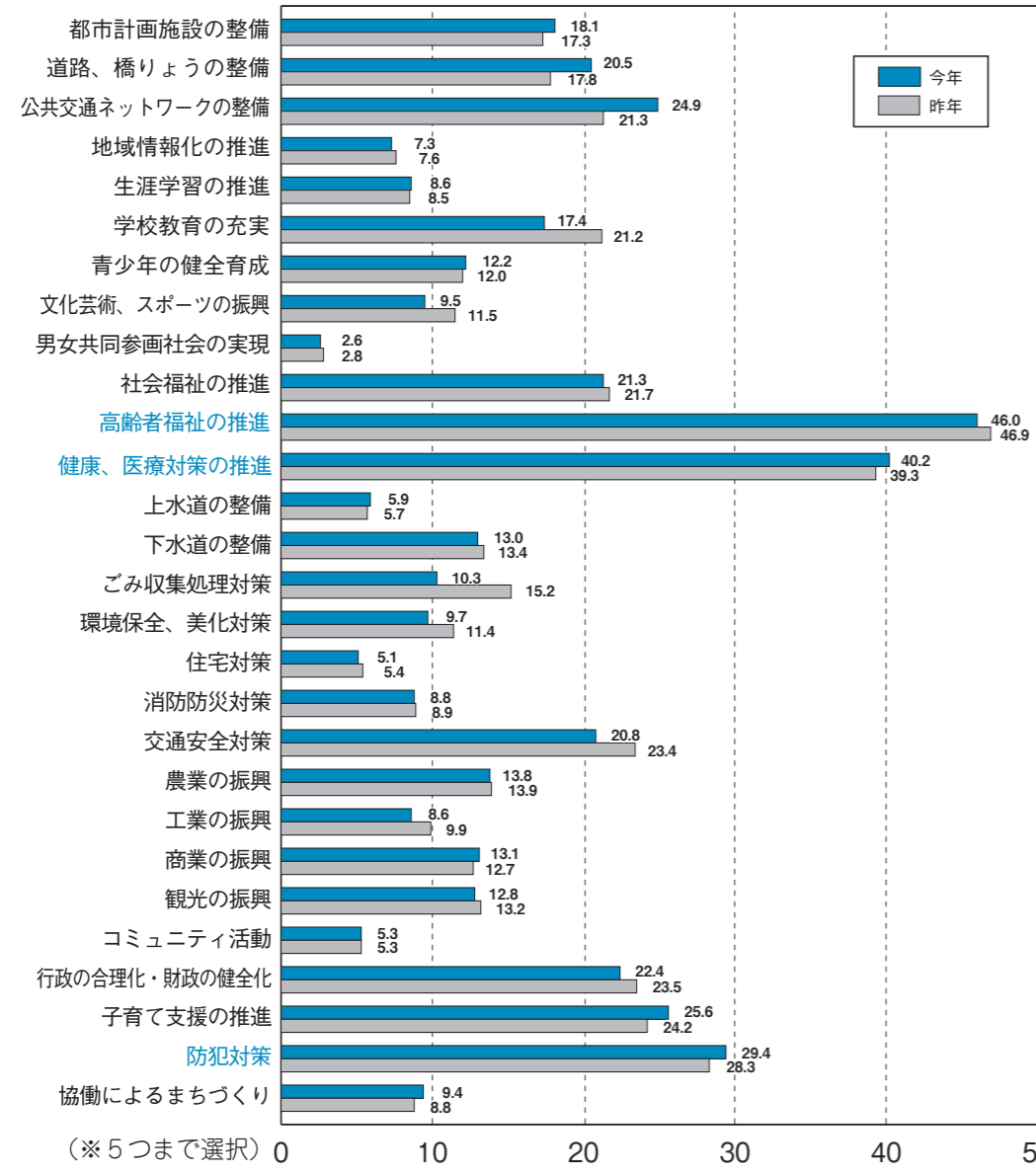
地震や大雨、竜巻などの自然災害が全国で多発しています。災害に対してどのような備えをしているかという質問では、「備蓄品を備えている」が5割を超え、次いで「避難場所を確認している」が高くなっています。

一方、今年設けられた項目として、「特に備えをしていない」という回答が約3割ありました。



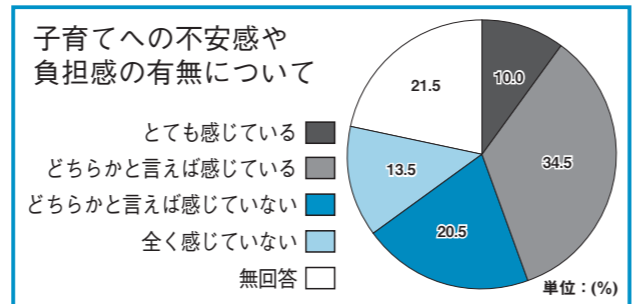
#### ◆今後のまちづくりで、力を入れてほしい施策

これからのまちづくりについて、力を入れて取り組んでほしい施策についての質問では、「高齢者福祉の推進」「健康、医療対策の推進」「防犯対策」が例年通り上位に挙げられており、関心の高さが表れています。また、「公共交通ネットワークの整備」や「子育て支援の推進」などが、昨年よりも高い割合となっています。



#### ◆子育て支援について

子育てへの不安感や負担感については、「とても感じている」「どちらかと言えば感じている」を合わせ、44.5%でした。（下図）子育ての不安感や負担感の内容については、「子どもの将来（社会情勢、進学、就職等）」の割合が最も高く、「子どもにかかる経済的な負担が大きい」、「子どもの教育（学力、しつけ等）」がこれに次ぎ、「仕事と子育ての両立」や「子どもの病気や発育」が3割台となっています。



#### ▼子育てへの不安感や負担感の内容

